



例年より早い梅雨明けで本格的な夏がやってきました。子ども達は、泥んこ、虫取り、追いかっこ、鉄棒、縄跳びなど思い思いの遊びを楽しんでいます。園庭の環境を見直し、タイヤ、丸太、ビールケースを置いてみました。タイヤは自分たちで並び替え、ビールケースは机や椅子に、ペットボトルが上手に収まりジュース屋さんの始まりです。

子ども達の活動に合わせ、また季節や時期に合った遊びが楽しめるよう今後も環境を工夫しながら、色々な遊びが展開するようにしていきたいと思ひます。たくさん遊んで汗をかいた後、保護者会が用意してくれたミストで涼みます。0、1、2歳児は保育室前のテラスでの水遊びが人気です。たらいに水を溜めてペットボトルやカップなどを使って、水を汲んだりこぼしたりを繰り返しながら、そして自分がたらいの中に入り気持ちよさそうにしています。

明日から夏季保育になります。箱根にとっては、忙しい日々だと思いますが、お休みの日には、是非、子どもとの時間を大切に、今しか味わえない経験を親子でたくさんしてみてください。配布した夏休みのしおりを確認してください。



5歳児交流

4園で行う5歳児交流が始まりました。年3回行なう計画です。交流を通して、中学校で一緒になる子ども達が、他園の友達と知り合い交流を持ち集団で活動する楽しさを体験する機会になったり、コミュニケーション力を身につけたりすることを目的として行なっています。1回目は箱根中学校で、体育の先生の指導の下交流を行いました。校長先生のマジックに驚いた子ども達、4グループに別れて自己紹介をし、言うこと一緒・やること一緒のゲームをして、跳び箱の飛び方を教えてもらいました。子ども達は、園とは違う大きな跳び箱でしたが、やさしく丁寧に教えてくれたので何回も挑戦していました。次はやすらぎの森、自然の中で交流を楽しみたいと思ひます。



子どもの目

日々子どもたちと接している中で、私たち大人がしていることをよく観察しています。髪型や服装が変わること、身につけている物のことや私たちがしている行動にも気付く子どもたち。そして、その時に発する言葉が、場面に合っていることもしばしば。お家ごっこをしている時に、家庭の様子が、垣間見れたり。そんな子どもたちの言動に私たち大人が、普段何気なくしている行動をもう一度振り返り、子どもたちの手本となるようにしていきたいと思ひます。「親の背を見て子は育つ」と言ひます。

サマーフェスティバル

9日のサマーフェスティバルご協力ありがとうございました。雨で保育室での実施でしたが、それぞれのコーナーは密にならずに楽しめたのではないでしょか。子ども達の笑顔と歓声、帰るときに袋いっぱい景品を持って帰る姿にサマーフェスティバルを満喫したことがうかがえます。コロナ禍の中、子ども達に思い出作ろうと保護者会の会長を中心に役員の方たちが一致団結して、職員と一緒に子ども達が楽しめるように盛り上げてくれました。ありがとうございました。

その後なかよし組の子ども達が、自分たちの経験をもとにおまつりごっこが始まりました。楽しかったコーナー(輪投げ、ころころ、宝さがし)のお店が再現され、景品作りも始まり、お招きの手紙を書いて、各クラスに届けました。19日開店の朝、なかよし組は張り切って準備をしました。午前中時間を決めていちご・つくし組から順番にきりん組までお客さんになって楽しみました。一人一人自分のお店の遊び方を優しく知らせていました。

自分たちの経験を活かし主体的に遊びを再現している姿に私たちが日頃保育の中で大事にしていることが、確信できた子どもの姿でした。その中で工夫や協同、社会性などを育てていきたいと思ひます。経験を力にできる子ども達の姿に、そしてクラスの仲間と相談して形にしていく意欲になかよし組の成長を感じました。次は保護者の方にも参加してもらえたらと思ひています。



食育が始まりました。

今年度は、例年通り食育が行われています。1回目はソラマメ。2回目は枝豆とトウモロコシでした。枝から前を外し、トウモロコシは皮とひげを、初めての経験で子ども達は楽しく、そして茹でたてを味わうことができ嬉しそうでした。夏野菜は暑くなった体を冷やすことを教えていただきました。子ども達が旬の食材を知り、食への興味、関心を深めていってほしいと思ひます。

